

REHABILI

プロコン40

リハビリ工法

浸透拡散型亜硝酸リチウム『プロコン40』を用いた
塩害・中性化・ASR補修技術

亜硝酸リチウム併用型床版防水工法 リハビリ床版防水工法 (コンクリート舗装用)

特徴

オールインワン型防水材6つの特徴！

- 低温下でも極低粘度(10~20mpa・s)の水性エポキシ樹脂で高い防水性を発揮します。
- 幅0.1mm~2.0mm程度のひび割れに対して浸透・充填し、コンクリート舗装表面のひび割れを補修します。
- コンクリート舗装表面に塗布します。
- 施工性がよく早期の交通開放が可能です。
- 耐摩耗性、すべり抵抗性に優れています。
- VOCを一切使用しない、完全な水性塗料です。

亜硝酸リチウムによる塩害・中性化抑制効果の付与！

- 塩害、中性化で劣化したコンクリート構造物に適用する場合、プロコン40(亜硝酸リチウム40%水溶液)に含まれる亜硝酸イオンが鉄筋位置まで浸透、拡散することで、鉄筋の不動態皮膜を再生して防錆環境を形成し、以後の鉄筋腐食の進行を抑制します。
- 特に塩害補修の場合は亜硝酸イオン供給量(プロコン40塗布量)を塩化物イオン量に応じて定量的に設定することができます。

施工仕様

鉄筋防錆剤：浸透拡散型亜硝酸リチウム『プロコン40』
高浸透型床版防水(1層目)：『HI-SPECシールL(CPタイプ)』
防水層保護(2層目)：『HI-SPECシールL(CPタイプ)+HI-SPECシールP』

① HI-SPECシールL(CPタイプ)【液体】

主 材・・・水性エポキシ樹脂
硬化剤・・・脂肪族ポリアミン

② HI-SPECシールP【粉体】

ポルトランドセメント、結晶性シリカ

施工手順

1. サンダーケレン・高圧洗浄などで既設舗装上の汚れなどを入念に除去します。
2. プロコン40を塗布する。
3. 1層目としてHI-SPECシールL(CPタイプ)を塗布する。
4. 2層目としてHI-SPECシールL(CPタイプ)とHI-SPECシールPを混合攪拌したものを塗布する。

HI-SPECシール(CPタイプ) 試験結果

項目	単位	基準値	試験値	試験方法(引用元)
防水性試験 I	ml	0.2以下	0.0	道路橋床版防水便覧
すべり抵抗性 (※1) (水浸WT負荷前/負荷後)	BPN	60以上	75/68	舗装施工管理要領 舗装設計施工指針
路面標示塗料との接着性 (23℃) (※2)	N/mm ²	なし	3.0	建研式引張試験

備考

※1・すべり抵抗性試験については、振り子式スキッド・レジスタンスにより測定
※2・参考 引張接着試験基準値(道路橋床版防水便覧・23℃)・・・0.6N/mm²以上



① 下地処理工

- サンダーケレン・高圧洗浄などで既設舗装上の汚れなどを入念に除去する。



② 亜硝酸リチウム塗布工

- 刷毛及びローラー等で『プロコン40』を規定量(標準塗布量0.3kg/m²)を塗布する。



③ 高浸透型床版防水工

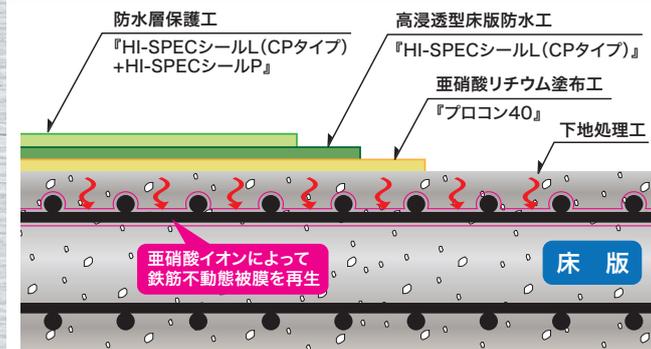
- ローラー・万能刷毛等で『HI-SPECシールL(CPタイプ)』を規定量(標準塗布量0.25kg/m²)塗布する。



④ 防水層保護工

- ローラー・自在ホーキ、レーキ等で『HI-SPECシールL(CPタイプ)+HI-SPECシールP』を規定量(標準塗布量0.8kg/m²)塗布する。

施工概念図



標準塗布量

防錆剤 0.3kg/m ²	浸透拡散型亜硝酸リチウム「プロコン40」を塗布する。
1層目 0.25kg/m ²	HI-SPECシールL(CPタイプ)を塗布する 主剤：硬化剤=1：1 重量比
2層目 0.8kg/m ²	HI-SPECシールL(CPタイプ)と HI-SPECシールPを混合攪拌したものを塗布する L主剤：L硬化剤：P=1：1：2 重量比

※床版面の凹凸の状態によっては、現場で2層目塗布量のキャリブレーションを実施してください(5~20%増量)



アイゾールテクニカ

〒606-0022 京都市左京区岩倉三宅町335番地
TEL075-757-8199 <https://www.iso.co.jp>



一般社団法人コンクリートメンテナンス協会

事務局 / 〒730-0053 広島市中区東千田町2-3-26
TEL082-541-0133 <http://www.j-cma.jp>